

○日時 令和7年4月7日(月)
11:15～11:45
○場所 本庁舎5階 プレゼンルーム

株式会社日本触媒との立地協定締結式

次 第

1. 出席者紹介
2. 北九州市 挨拶
(市長 武内 和久)
3. (株)日本触媒 挨拶・事業説明
(代表取締役社長 野田 和宏)
4. 協定締結(署名)
5. 質疑応答
6. 写真撮影

配布資料

- ・ 配席図
- ・ 説明資料
- ・ 北九州市4月4日投げ込み資料(情報追加分)

【問合わせ】

北九州市 産業経済局 企業誘致課

課長：浦、係長：久我 電話：093-582-2065



日本触媒

株式会社日本触媒について

2025年4月7日

代表取締役社長 野田和宏

会社概要

会社概要

日本触媒 

創業

1941年8月

資本金

250億円

従業員数

4,607名

2024年3月期末時点

グループ会社数

43社

2024年3月期末時点

売上収益

3,920億円

2024年3月期

海外売上 収益比率

約56%

2024年3月期

資産合計

5,441億円

2024年3月期末時点

資本合計

3,926億円

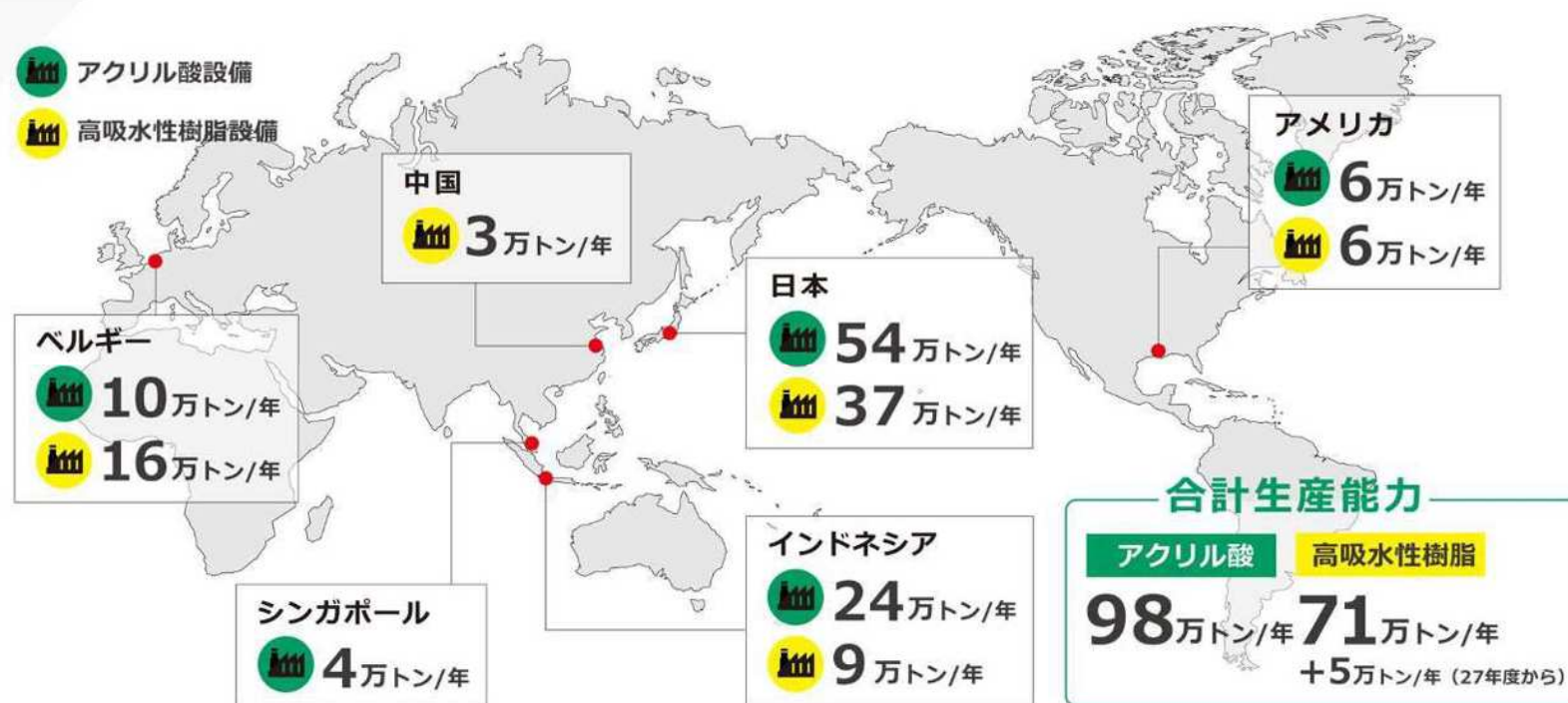
2024年3月期末時点

社会・環境の変化に柔軟に対応し、進化し続ける化学会社へ



アクリル酸・高吸水性樹脂の世界展開図

高吸水性樹脂は世界No.1シェア



ソリューションズ事業：これからの成長事業

日本触媒 

成長事業

エネルギー

電池材料、水素関連材料



エレクトロニクス

ディスプレイ材料、半導体材料



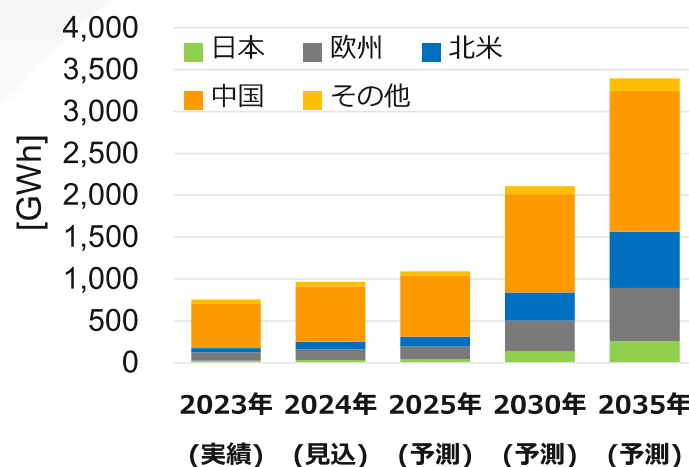
ライフサイエンス

中分子医薬CDMO

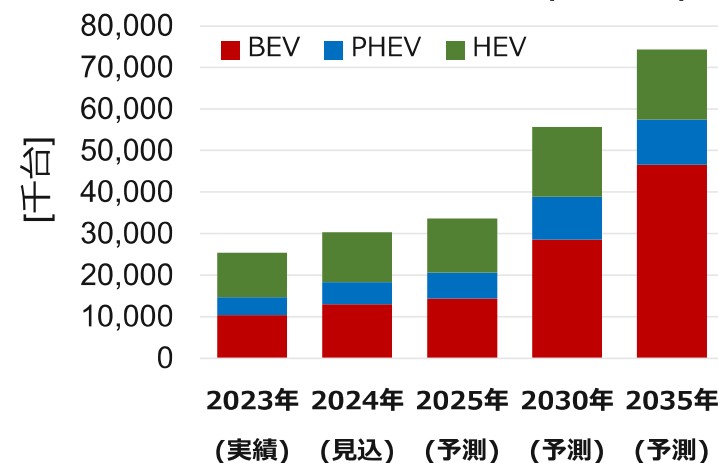


リチウムイオン電池（LIB）市場動向

車載用LIB市場規模推移(地域別)



xEV世界生産台数予測(車種別)



出典：富士経済「エネルギー・大型二次電池・材料の将来展望2024 -電動自動車・車載電池分野編-」

- 2030年にかけて電気自動車（EV）向けLIB市場が急拡大する見込みです。
- 車載用LIBは、さらなる高性能化に加え、高い安全性が要求されます。



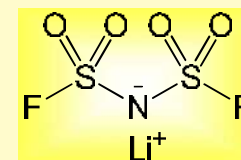
リチウムイオン電池素材「イオネル®」

日本触媒 

化学名：Lithium bis(FluoroSulfonyl) Imide, LiFSI

製品名：イオネル®LF-101

用途：リチウムイオン電池(LIB)向け電解質



※当社はLIBに適した高純度LiFSIに関する特許権を所有しています

現行車載電池の課題

長寿命化

電池の膨れ

急速充電

寒帯域での利便性

熱帯域での利便性

現行材料を
イオネル®
へ置き換え

電池寿命 **60%**向上

80%抑制（安全性向上）

急速充電可能な容量 **15%**改善

-20℃での容量**30%**向上

60℃での自然放電**10%**抑制

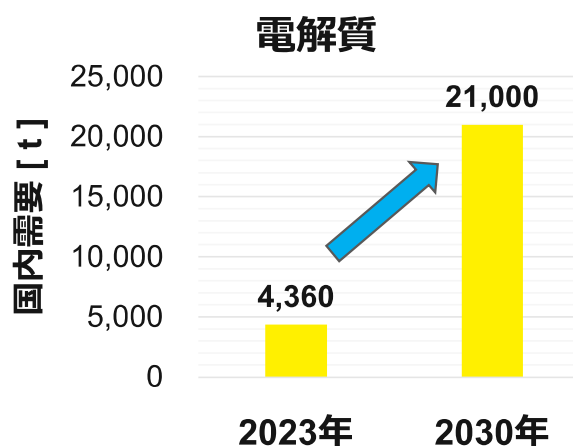
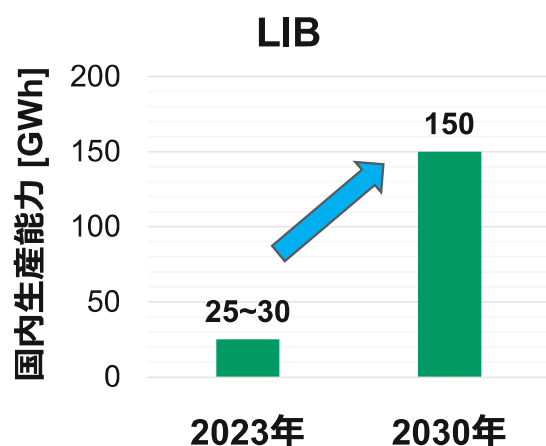
北九州市への進出について

日本国内における蓄電池産業の展望

日本触媒 

【経産省】蓄電池に係る安定供給確保を図るための取組方針(令和5年1月19日)

2030年までに蓄電池・材料の国内製造基盤 150GWh/年の確立



(当社調べ)

- 国内におけるLIB向け電解質需要は、2030年までに約21,000tへ急増する見込みです。
- LIBの性能改善にはLiFSIが必須であり、イオネル®生産基盤を新たに構築することで国内サプライチェーンの確立を図ります。

イオネル®新工場概要

日本触媒 

名称	株式会社日本触媒 北九州工場
場所	福岡県北九州市若松区響灘地区
敷地面積	約65,000m ²
従業員数	約50名
投資総額	約375億円
生産規模	イオネル® 年産3,000t

スケジュール

2026年1月 着工予定

2028年7月 商業運転開始予定



選定理由

- ・ 物流、ユーティリティ設備の利便性が良い
- ・ 災害に対する安全性が高い
- ・ 自動車、環境関連産業が集積

※本事業計画は、経済産業省による供給確保計画（2024蓄電池第5号ー1）に認定

ビジョンの達成に向けて

日本触媒 

共に未来へ歩んでいきましょう！

人権の約束事運動マスコット
キャラクター「モモマルくん」

**Kitakyushu
Action!**

動かせ、未来。北九州市



TechnoAmenity

私たちはテクノロジーをもって
人と社会に豊かさと快適さを提供します

2028年
北九州工場
商業運転



目指す都市像

つながりと情熱と技術で、
「一歩先の価値観」を
体現するグローバル
挑戦都市・北九州



長期ビジョン

人と社会から必要とされる
素材・ソリューションを
提供

